

IOSCO による市中協議文書 「株式の流通市場におけるマーケットデータ」の公表について

証券監督者国際機構(IOSCO)の代表理事会は、株式の流通市場におけるマーケットデータの利用に関連する問題点に係る市中協議文書に対するコメントを求めている。

マーケットデータは公正で効率的な市場の不可欠な要素である。より具体的には、市場参加者は十分な情報に基づき競争力のある取引判断を行うために、また、規制要件を遵守するために、相場と約定に関する情報を必要としている。しかし、多くの法域の市場参加者はマーケットデータの内容、コスト、アクセシビリティ、公正性、統合について懸念を提起している。

IOSCO は、市中協議文書「[株式の流通市場におけるマーケットデータ](#)」において、これらの懸念について記述しており、問題点及び考えられる規制上の対応について業界の意見を求めている。

本市中協議文書では以下の問題点や懸念を特定し、これについて記述している：

- 現在の市場において取引を促進するために必要なマーケットデータ
- 公正、公平、適時のマーケットデータへのアクセス
- マーケットデータの互換性
- マーケットデータの費用
- データの統合の必要性和程度
- マーケットデータの利用に関連する追加的商品とサービス

この分野における IOSCO の作業は、マーケットデータに対する規制監督上のアプローチを検討する法域にとって有益な情報を提供することを目的としている。IOSCO は、本市中協議文書に対するコメントを2021年2月26日まで募集している。

(Note to the Editor は省略)

(以上)